

前回部会以降の住民参加部会の状況

1. 説明資料に関する検討の経緯

5/27：第5回住民参加部会

これまでの部会および他部会での意見交換内容や各委員から寄せられた意見を元に、主に説明資料（第1稿）の河川環境、治水・防災、利水、利用、ダムについて意見交換が行なわれた。

5/27～6/4：引き続き説明資料（第1稿）についての意見募集

6/9～12：部会議論とりまとめ（案）についての意見募集

7/ 4：第1回住民参加部会検討会

説明資料（第1稿）に対して、住民参加に関する意見は数多く出されており、今後は検討の角度を変え絞り込んで検討を行う旨の部会長の提案をもとに、理念班、実践班、展開班の3班（下記2参照）を設立し、班別に説明資料（第2稿）の検討を行うこととなった。

7/12：第23回委員会にて状況報告

7/12～8/19：検討班別の検討（各班の検討経緯については、次頁参照）

8/20：第2回住民参加部会検討会

各班からの報告および意見交換が行われた。また、対話集会の具体的方法（特にファシリテーター）について河川管理者との意見交換が行われた。さらに、「社会的合意のあり方」については、委員から意見募集を行った上で、部会で議論を行うこととなった。

2 検討班の構成

7/4開催の第1回検討会において、部会としての意見とりまとめに向けて、下記3つの班を設けて検討することが決定した。とりまとめリーダー山村委員、サブリーダー荻野委員。また、各班で議論すべき論点を検討し、その結果を次回部会検討会にて部会全体で議論することとなった。

検討班	担当委員（ : 班長、 : 副班長） とりまとめリーダー：山村委員、サブリーダー：荻野委員
理念班	田村委員、 畑委員、嘉田委員、山村委員、米山委員
実践班	塚本委員、 田中委員、荻野委員、寺田委員、藤井委員、三田村委員
展開班	川上委員、 村上委員、有馬委員、小竹委員、本多委員、松本委員、（山本委員）

（ ）内は、7/4 部会検討会に他部会より参加された委員。

理念班の副班長は、当初嘉田委員を予定していたが、7/12 に理念班での協議の結果、畑委員に変更することとなった。

3 各検討班での検討経緯

理念班

- ・第23回委員会（7/12）終了後、メンバーにて打ち合わせ
- ・7/12～7/19 下記について意見募集
 1. 全般的、総括的な意見・論点
 2. 住民参加の具体化の手法について
 3. 第2稿「5．具体的整備内容」と個々の住民参加手法について
 4. 情報の公開と共有について
 5. その他
- ・7/24～31 追加意見募集
- ・8月初旬に、班長を中心にとりまとめ案を作成
- ・8/8～18 とりまとめ案について、意見募集

実践班

- 8/ 4：作業部会（実践班）：実践班で検討すべき課題等を抽出
- 8/11：作業部会（実践班）：実践班とりまとめに向けた意見交換

展開班

- 7/31：作業部会（展開班）：実践班で検討すべき論点、課題等を抽出
- 8/ 4：作業部会（展開班）：7/31の結果を元に、意見交換
- 8/ 5～19：意見募集